

令和6年 第3回

# 武蔵野市教育委員会臨時会

令和6年8月22日

於 412会議室

武蔵野市教育委員会



## 令和6年第3回武蔵野市教育委員会臨時会

○令和6年8月22日（木曜日）

○出席委員（4名）

教育長職務代理者	清水 健一	委員	高橋 和
委員	岩崎 久美子	委員	森田 亮

○事務局出席者

教育部長	真柳 雄飛	指導課長	荒井 友香
統括指導主事	高丸 一哉		

---

○日 程

1. 開会の辞

2. 議 案

議案第11号 令和7年度使用中学校教科用図書採択について

議案第12号 武蔵野市教育委員会教育長職務代理者の権限に属する事務の委任  
に関する規程の制定について

3. 協議事項

（1）令和7年度使用中学校教科用図書採択について

4. 報告事項

（1）令和7年度に特別支援学級で使用する教科書の意向調査の結果について

---

◎開会の辞

○清水教育長職務代理者 ただいまから令和6年第3回教育委員会臨時会を開会いたします。

初めに、会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員は、武蔵野市教育委員会会議規則第36条の規定により、議長において、高橋委員、森田委員、私、清水の3名を指名いたします。

これより議事に入りますが、本日の協議事項、令和7年度使用中学校教科用図書採択については、去る7月5日に行われた第7回教育委員会定例会における協議で、公開とし傍聴を許可することを決定しております。

なお、本日は27名の方から傍聴の申請がありました。

これより議事に入りますが、本日は報告事項、協議事項、議案の順に進めたいと思います。

---

◎報告事項

○清水教育長職務代理者 報告事項（1）令和7年度に特別支援学級で使用する教科書の意向調査の結果について、説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 私から令和7年度に特別支援学級で使用する教科書の意向調査の結果についてご報告をいたします。

特別支援学級で使用する教科書につきましては、文部科学省検定済み教科用図書を使用することが適当でないときはほかの適切な図書、例えば絵本などを含めた児童用の一般図書を教科用図書として使用することができます。これは学校教育法附則第9条の規定によるものでございます。

本件について特別支援学級設置校に対し意向を調査したところ、一般図書の使用希望はございませんでした。そのため、今回採択いただくものはございません。

説明は以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明について質問、ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、この報告事項につきましては了承されたものといたします。

---

### ◎協議事項

○清水教育長職務代理者 続いて、協議事項（１）令和７年度使用中学校教科用図書採択についてを議題といたします。

説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、本日の協議事項でございます令和７年度から令和10年度に使用する中学校教科書の採択につきましてご説明いたします。

初めに、この中学校教科書採択について本日に至るまでの経緯をご説明します。

資料１、「令和７年度使用中学校教科用図書採択について」をご覧ください。

今回の教科書採択を行うに当たり、「４ 教科書採択の流れ」にありますとおり、教育委員会で円滑に採択が行えるよう資料などを提供するために採択協議会を設置し、学識経験者やPTAの代表者、教員など、様々な立場の方に委員としてお入りいただき教科書に関する協議をしていただきました。その際、実際の見本本や教科別検討委員会で作成した資料を参考にさせていただきました。また、各中学校に教科書を回覧し、校長をはじめ教員の方々から教科書の内容についてご意見をいただきました。

併せて市民の皆様からも広く意見をいただくために、去る６月20日から７月18日まで、各教科書の見本本を教育推進室、こちらは６月20日から７月３日、中央図書館、こちらは７月6日から７月17日、吉祥寺図書館、武蔵野プレイス、こちらは６月28日から７月18日で展示をいたしました。その際、閲覧簿の確認で59の方が閲覧し、52件のご意見をいただきました。また、教育委員会にも２件要望書が寄せられました。これらは既にご覧いただいておりますが、本日は中央の机の上に置かせていただいております。

教育委員の皆様には、資料２に記載の各教科の目標などを踏まえ、これまでに多くの時間をかけながら、これらの資料や意見、要望をご覧くださいとともに、採択の対象となる教科書に目を通していただき、それぞれの教科書の内容や構成、特色について検討をいただき、教科書研究を進めていただきました。そして８月８日には、非公開ではございましたが、第２回教育委員会臨時会を開催し、一つ一つの種目について十分に時間を取って教科書を確認しながら、採択の候補の案についてご協議をいただいたところで

ございます。本日改めて中学校教科書の全種目について学習指導要領の教科順にご協議をお願いし、採択すべき教科書の候補をお決めいただきたいと思います。

初めに、事務局から8月8日の教育委員会臨時会における協議結果についてご説明した後、教育委員の皆様のご意見をいただき、種目ごとに1つの候補を決めるという形で進めていきたいと考えております。そして全種目の協議の後、議案として改めてお諮りいたしますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

特に質問がございませんようでしたら、本日の日程につきましてはふだんの定例会と異なり、まず協議事項として中学校の教科書の全種目について協議を行い、採択すべき教科書の候補を決めた後に、議案として改めてお諮りするといった順で進行いたします。

それではまず、国語について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、国語についてご説明申し上げます。

国語の教科書の発行者は4者でございます。

教科の目標は資料2の1ページに記載のとおりでございます。

採択協議会の協議では、光村図書出版は学習の見通しを持つ工夫が充実しているほか、話す、聞く、書くといった基本的なことを分かりやすく説明したつくりになっている。教育出版と光村図書出版のデジタルコンテンツは、不登校の生徒のためにもいいのではないか。東京書籍は体験的な学習が扱いやすい。三省堂はイラストが充実しているので文章の想像をしやすいが、イラストが子どもっぽいなどの意見が出され、光村図書出版と教育出版が武蔵野市の生徒が使用するのに適していると協議をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、光村図書出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

説明は以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいですか。

では、説明と先日の臨時会の協議を踏まえ、国語で採択する教科書の候補についてご意見をお願いします。

岩崎委員。

○岩崎委員 4者を比べさせていただきました。東京書籍に関しましては、アナウンサーの内容から朗読体験に入るなど、あるいは、身近な「浦島太郎」の現代的な話から古典に入る流れとかが優れていて、とても良いと思いました。

最終的に光村図書出版を候補として選定したわけですが、バランス的にこれまでの蓄積と安定感があるということや、資料や書籍の紹介数が多い、あるいは学習の見通しや思考の整理の図、学びのかぎの一覧表が良いというところで、皆さんの評価が高かったということです。

2者だけですが、以上です。

○清水教育長職務代理者 どうですか。

森田委員。

○森田委員 国語というのは、話す、聞く、書く、読むといった技能を身につけて、自分の意見や考えを正しく伝えられるように学んでいく教科だというふうに考えています。その観点から4者を見たところ、光村図書出版が一番学びやすい、力が伸びるんじゃないかという構成になっていると思いました。

また、教育出版ですが、レイアウトもとても良くて資料も多いので生徒の興味を引きやすく、中学校から古典が始まると思うんですけども、古典が苦手にならない、好きになるんじゃないかという印象を持ちました。

2者ですが、以上です。

○清水教育長職務代理者 高橋委員。

○高橋委員 東京書籍は本文、手引き、そして対話の学びというところで、とても話合いがしやすいのではないかと感じました。

三省堂、光村図書出版ともに、レポートの書き方が具体的に示されているのがとても良いと思いますが、4者あります「走れメロス」を全者で比較してみましたが、私は光村図書出版が一番良いと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 それでは、私からも一言。

東京書籍は1学年の276ページからの要約の仕方、280ページからの思考のヒントとともに、日本語で考える上で大切なポイントを示しています。3学年を通して感じたこととして、この教科書の学習を通して言葉の力を高めていくことができると感じました。

三省堂です。古典の名作も入っていて読みごたえがある教材文もあります。2学年の39ページ、話合いのコツで、チャーハンの作り方を知るなら本が良いか動画が良いかというのは、テーマとしてはちょっと面白くないなと思います。

教育出版は、経験の浅い教員にとっては扱いやすい教科書だと思いました。

光村図書出版については、教材文を読んで何かについて考え学んでいくという方向性が視覚的に捉えやすいと感じています。皆さんのおっしゃるように、言葉の力をトータルで伸ばしていける教科書ということでいくと最有力かなということ、私も感じております。

それでは、お諮りいたします。

今まで皆様からご意見を伺った結果、国語につきましては光村図書出版を採択する教科書の候補に決定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、そのように決定いたします。

以上で、国語に関わる協議を終了いたします。

それでは、次に書写について協議を行います。説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、書写についてご説明いたします。

書写の教科書の発行者は4者です。

書写は国語の一部でございますので書写としてだけの目標を示してはありませんが、指導内容等については資料2の1ページをご覧くださいければと思います。

次に、採択協議会の協議では、光村図書出版や教育出版の筆圧を扱ったページがいい。この学習により生徒の線が格段に変わって大人の字になる。生徒のやる気も高まるのではないか。東京書籍は話合い活動が中心で文字を書く時間が少なくなるのではないか。国語の教科書とセットで利用することを考えると、東京書籍と三省堂よりも教育出版、光村図書出版のほうが良いのではないかななどの意見が出され、光村図書出版と教育出版が武蔵野市の生徒が使用するのに適しているのではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、光村図書出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

説明は以上でございます。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

特に質問がございませんようでしたら、書写についてご意見をお願いします。

森田委員。

○森田委員 光村図書出版です。興味をつくる、引くつくりになっていると思ひまして、文字について考える項目が非常に良かったなと思ひました。フォント、手書きの良さ、あと入学願書の書き方ですとか、実際に使える、身につくといひような内容になっていると思ひます。

以上です。

○清水教育長職務代理者 高橋委員。

○高橋委員 教育出版は、表紙が和のテイストでとても印象的でいいなと思ひました。また内容もPOPを作る、日本の書き順などが分かりやすく丁寧に書いてあるなども、とても良かったように思ひます。

東京書籍も実際の筆やペンを使う場面が実際に示されている。1年生の65ページのところですかね。防災訓練を例に分かりやすく書いてあるアドバイスなども良かったと思ひます。

その中でも私は光村図書出版が良かったかなと思ひます。理由は手紙やはがき、送り状、そして入学願書、原稿用紙のレポートなど、様々な例として挙げていると、とても良く、一番現代的な教科書というふうに感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 東京書籍は、トン・スー・ピタツという音で筆の動きを表したのが分かりやすくとても良いと思ひました。小学校で学んだことの振り返りもしている点も評価を高くしたところではす。

三省堂は、「筆を45度」など点画が丁寧に扱われている印象がありました。

教育出版は、表紙が皆さんおっしゃっているように歴史を感じる内容で品が良く、内容的にもレイアウトもきれいとの印象を持ちました。

光村図書出版ですが、これまでのお話があつたように、手紙、はがき、あるいは入学願書といった身近なものを取り扱っているという点や、国語との関係でセットで使うと整合性が取れる点も評価されたところでした。

以上です。

○清水教育長職務代理者 それでは、私から。

東京書籍は、表紙裏の「文字を書くってなんだろう。」というのがいいと思いました。書写の基本を1年の初めにしっかりと押さえていると思います。

三省堂、教育出版は、硬筆の練習を教科書に書き込む、どちらも見やすく扱いやすい教科書であると思いました。

光村図書出版は、4つの中で毛筆の筆の使い方、具体的に言うと筆の穂先や面の使い方が一番分かりやすいと思いました。日常に役立つ様々な書式例が一番多く、指導しやすい教科書と言えるのではないかと思います。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、書写につきましては光村図書出版を採択する教科書の候補に決定したいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、そのように決定いたします。

以上で、書写に関わる協議を終了いたします。

次に社会(地理的分野)について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、地理についてご説明申し上げます。

地理の教科書の発行者は4者です。

地理の目標につきましては資料2の2ページに記載のとおりでございます。

採択協議会の協議では、各者減点要因はないが、その中で帝国書院は、資料と課題解決の関連づけがしっかりとされている。西ノ島が大きくなる様子など、生徒にとって地理の発見になるのではないかと。東京書籍は、各ページに社会科の見方・考え方が記載されて分かりやすいように思う。帝国書院と日本文教出版は、北方領土の扱いについて歴史的背景に触れているのが良いなどの意見が出され、帝国書院と次点で東京書籍が武蔵野市の生徒が使用するのに適しているのではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点などを細かくご意見いただいた上で、帝国書院を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

特に質問がございませんようでしたら、社会（地理的分野）についてご意見を願います。

高橋委員。

○高橋委員 まず東京書籍です。93ページの記述は、この写真ですね。ケニアの方が使っている写真が、印象として1つのものをみんなが見ているような印象を与えるのではないかというのが、ちょっと心配されました。103ページのところでは、「情報化で変わるアフリカの暮らしと社会」ときちんと書かれているんですけども、もうちょっとみんなが使っているという写真のほうが見たかったのではないかと思います。

教育出版は、19ページの領土領海の記述のところ、宇宙まで含まれてしまっているような印象を与えるイラストであると私は感じました。

帝国書院です。地図、データ、写真のバランスがとても良いと思いました。135ページには練馬区の記述があり、生徒たちも身近に感じるのではないかと思います。学習の振り返りやデジタルコンテンツなどもとても良かったと思います。二次元コードから読み取るデジタルコンテンツも、生徒たちの興味を引きそうな内容で一番いいのではないかと感じました。

○清水教育長職務代理人 岩崎委員。

○岩崎委員 地図はどれを見ても楽しく、それぞれ良い点があって、どの教科書を選択しても一定水準を超えるものであろうと思いました。

東京書籍はとても見やすく、日本文教出版も見やすかったです。学習という点から見たときに教育出版はワークシートが充実しているとの印象がありました。その中で帝国書院が学習の観点からは、最も自発的に探究学習をするのに適した内容と構成になっていると感じました。

○清水教育長職務代理人 森田委員。

○森田委員 帝国書院が一番良かったですね。アクティブ地理というのがところどころに入っているんですが、中学生が興味を持って勉強ができる仕掛けが随所に取り入れられていると感じました。

日本文教出版ですが、レイアウトが一番すっきりしていて見やすく勉強しやすいものだったように思います。

情報量としてはどの教科書もたくさんあって、この手の本は、生徒が興味を持ってどんどん調べていけるようにいろいろな情報が入っているといいなと思ったので、4者甲

乙つけ難いところですが、帝国書院が一番まとまっていたんじゃないかなと思います。

○清水教育長職務代理者 では、私からですけれども、東京書籍、先ほど高橋委員が93ページのケニアの写真のことについて触れたんですけれども、私もちょっとこの写真は違和感を感じました。どういうことかという、ケニアで1人の人がスマホを見て、あとの人が周りを取り囲んでそれを見ている写真なんですね。これはどういう意図で東京書籍はこの写真を載せたのかなと。例えば、やっとスマホが入ってみんなで興味深く見ているという意図なのか、それとも、ケニアでもスマホが普及してきましたよということを知らせたい、そういう写真なのか、その両方に取れるなというふうに思ったわけです。そういったあたりで、先ほどの高橋委員のような感想が出てきたのかなと思いました。

東京書籍ですけれども、全体的に見て淡い色で色合いがとてもいいなと、見やすいなと思いました。読み物がとても面白いなと感じます。まとめとして探究学習が設定してあるのも良いと思います。ボリュームが非常にあるんですね。これは教科書の使い方を計画的に考えて進めないと、ちょっと時間が足りなくなる可能性もあるかなんていうことも考えました。

教育出版ですけれども、学習の振り返りについては一工夫欲しいなと思います。ボリューム感はちょうどいいかなと思いました。

帝国書院が、私も一番良いのではないかと思います。読み物が重厚であると、アクティブ地理というのは、思考・判断・表現の力が伸ばせるとも良い取組だと思います。まとめ振り返りの学習内容は4者の中では一番いいなと思いました。

日本文教出版、本文はとてもまとまっています。読み物は不十分な内容が散見されました。まとめ振り返り是对話的な学習が入るともっと良いなと思いました。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、社会（地理的分野）につきましては帝国書院を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、社会（地理的分野）に関わる協議を終了いたします。

次に社会（歴史的分野）について協議を行います。説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、歴史についてご説明申し上げます。

歴史の教科書の発行者は9者です。

歴史の目標については資料2の2ページに記載のとおりでございます。

採択協議会の協議では、東京書籍は全ての小単元に「チェック」と「トライ」という項目があり分かりやすい。年表があると今学んでいる時代の流れが分かる。世界の歴史とのつながりで考えると東京書籍、帝国書院が見やすいつくりになっている。山川出版は、細かく記載があり歴史が好きな子どもたちが触発されるのではないかと。日本文教出版はイラストが子どもっぽい印象だ。様々な歴史観があってもよいが、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍は、一方向の歴史観に導かれる懸念がある。社会科は知識だけでなくどう資料を読み解くかが大切である。日本文教出版、帝国書院、東京書籍、教育出版は、そうしたナビゲートの問いかけがあるなどの意見が出され、東京書籍と次点で帝国書院が、武蔵野市の生徒が使用するのに適しているのではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいですか。

特に質問がございませんようでしたら、社会（歴史的分野）についてご意見をお願いします。

高橋委員。

○高橋委員 私は、詳しさ、分かりやすさ、そして対話的な学びができるか、あとは内容のバランスといった3つの基準で全者の教科書を拝見いたしました。その中で一番いいと思ったのは東京書籍です。協働的な学びを目指しているというふうに感じました。

山川出版は、「地域からのアプローチ」の内容がとても良かったように思います。

日本文教出版は、吹き出しが分かりやすくデジタルコンテンツがまとまっていると感じました。

育鵬社は、「歴史ズームイン」がとても面白く感じました。

学び舎は、教科書がちょっと大き過ぎるかなと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 自由社、学び舎、育鵬社、令和書籍の教科書は、それぞれ読んでいてとても興味深く面白かったです。一定の主張があって、大人になってから読むと面白いとの印象がありました。皆さんと議論しましたが、教科書という性質上、様々な考えや対立する主張などをバランスよく取り扱う必要があるということもあって、難しい判断があったということです。

学び舎は、見出しづけが本当に上手で、内容を表現していて関心を引くような上手な見出しとの印象がありました。

令和書籍は、ですます調で本当に読み物として面白かったです。

個人的には山川出版が良いと思いました。「地域からのアプローチ」など歴史のアプローチが良く、中立性もあり信頼をおけると思いましたし、内容も充実していました。ですが皆さんとの議論を通じて、教える方々の立場に立つと、東京書籍が内容的には安定していると伺いまして、バランスが良く分量も含めて一番優れているという結論に至りました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 では、森田委員。

○森田委員 最多の9者ということで、非常に僕も興味深く各者を見させていただきました。

自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍、4者については、近代の記述が非常に多くて、大人になってから読むと非常に興味深く、ああ、こういった見方もあるのかという勉強には適しているかと思うんですが、中学生がこの段階で学びを深めていくにはちょっと不適かなというふうには思います。

学び舎の教科書は個人的には非常に好きでして、近代をこれだけしっかり学ぶことができるというのはポイントが高かったと思います。ただ、分量の偏りもあり、これで先生がどういうテストを作って、どういうふうに高校入試に向けていくのかという部分については、ちょっと難しい裁量になるんじゃないかなと思いました。育鵬社も同様です。

令和書籍は内容は面白かったです。ただ、教科書のようにちょっと見えづらく、これで授業をしていくのは、先生たちもなかなか難しいのではないかなと思いました。

帝国書院、日本文教出版ですが、東京書籍に比べるとちょっとレイアウト面に難があって、小口にある年表が見にくいですとか、その辺細かいところはちょっと気になってしまうところがありました。

そういう意味で東京書籍が一番総合的にバランスが良く、中学生が学んでいくには適しているんじゃないかと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 それでは、私から。

東京書籍ですけれども、内容、ボリューム、これはちょうどいいなと思います。写真が鮮明でいい写真をたくさん入れています。これはとても大事なことだと思いました。

「もっと知りたい」というコーナーがあるんですけれども、これは少し内容的に細かいかなと感じました。復習に役立つ構成になっています。全体として良くできていて資料も充実しています。私が一番いいなと思ったのは、対話的な学びを進めていく上でこの教科書は扱いやすいと感じました。

教育出版です。単元の導入がダイナミックで興味・関心を引きつけている。これはとても素晴らしいことだと思います。「学習のまとめ」、これもいいなと思います。対話的な学びが促される構成になっていると思いました。

帝国書院、単元導入のイラストが興味・関心につながっていきます。写真や図がとてもいいなと思いました。

山川出版です。日本と世界の年表が深い学びにつながっていくなど、比較をしてそこから見えてくるものがあるということです。読み物もいいと思います。対話的な学びにもつなげやすい。学習のまとめもコンパクトで分かりやすい。なかなかいい教科書であると思います。

それから日本文教出版、学習の初めに年表と地図があって、これもいいなと思いました。資料が良くて対話的な学びにつなげていくことが可能かなと思います。見通しを持って学習を進めるというのに適しているなと感じました。

自由社、内容的にはいろいろなご意見があるかと思うんですけれども、ちょっと私が残念だなと思ったのは、明るさとかコントラストとかいったところにちょっと課題があるなど、見た感じ不鮮明、ほかの発行者と比べるとですね。だからそのところを改善されるといいのかなと思います。

それから育鵬社です。これは教科書の内容というよりも、対話的な学びをこの教科書で創出するというのがなかなか難しいかなと、そんな印象を受けました。

それから学び舎、これは本文の字体が他者の教科書と違うんですね。これについては、見やすさという点では少し難があるかなと思います。ちょっと内容的に偏りのある部分

も感じられました。

それから令和書籍ですけれども、これは読み物としてはいいなと思います。ただ、授業を展開していくに当たってこの教科書を使うというのは、なかなか扱いにくいという印象を持ちました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、社会（歴史的分野）につきましては東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、社会（歴史的分野）に関わる協議を終了いたします。

次に社会（公民的分野）について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、公民についてご説明申し上げます。

公民の教科書の発行者は6者でございます。

公民の目標については資料の2の2ページに記載のとおりでございます。

採択協議会の協議では、帝国書院に「アクティブ公民」で社会参画の疑似体験などがある。武蔵野市は武蔵野市民科で市民参画を促しているの、公民でこうした扱いも重要である。一方で、帝国書院に掲載されている学習活動を網羅するには授業時数が足りないのではないかと。教育出版の小学校との関連性というのは、どれくらい生徒に響くのか疑問がある。総合的な学習の時間やカリキュラム・マネジメントの観点から、社会参画を早めの段階で意識することが重要である。東京書籍や帝国書院は、最初の段階で主体的な視点を持って学習できるつくりになっている。教師が扱うことを考えたら東京書籍がやや優位ではないかななどの意見が出され、東京書籍と帝国書院が武蔵野市の生徒が使用するのに適しているのではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいですか。

特に質問がございませんようでしたら、社会（公民的分野）についてご意見をお願いいたします。

では、森田委員。

○森田委員 帝国書院、「アクティブ公民」が非常に良かったです。学びやすいなというふうには思いました。ただ、「考えよう」というところで、マンションの騒音問題ですとか民主主義の在り方というふうな、若干中学生にとってはぴんときづらい内容だったんじゃないかなとは思いますが。そういう意味では東京書籍が、バランスが良く授業で使いやすい、身近な話題も多くて子どもが勉強しやすいんじゃないかなと感じました。

個人的には育鵬社の公民もかなり興味深くて、実際これから社会に出て生きていく子どもたちにとって大事な経済ですとか、あとゲーム理論について触れられていて、楽しい授業ができそうだなと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 高橋委員。

○高橋委員 東京書籍は、10ページにありますスマホの例など、とても分かりやすいと感じました。教員の方も使いやすいのではないかと思ったところです。

教育出版は、トピックが身近でとてもいいなと思いましたが。LGBTについても1ページ使って説明がありました。

帝国書院、これも良かったと思います。48ページの多様性や制服写真などで考えるという、子どもたちにディスカッションを促す問いも良かったと思います。

日本文教出版は、57ページに実際に点字のぽこっと触れるような形になっているというのが、工夫されていてとてもいいと感じました。

育鵬社は、クラウドファンディングの内容が入っているというのが、とても新しいなと思いましたが。

自由社は、もう少し図や表で表したほうが分かりやすいのではないかなと私は感じました。ちょっと文字が多いかなと感じたところです。

以上です。

○清水教育長職務代理人 岩崎委員。

○岩崎委員 公民に関しましては、私は平等権のところを比較してみました。平等権、いわゆる差別に関する内容が書かれているところです。多くの教科書が差別があるという

事実にとどまるところ、帝国書院は「平等権の実現に向けて」という記述、そして東京書籍は「差別の撤廃」という、実態の先にどうアクションを起こしていくかまで言及している点で、帝国書院と東京書籍が良いと思いました。

特に帝国書院は、武蔵野市民科の充実の観点からも、生徒に考えさせる内容が多く良いと思いましたが、ボリュームが多い点が少し気になりました。

育鵬社は83ページに現役の内閣の写真を使っていて、ほかの教科書会社にも言えることですが、今後変わる可能性とか、現在いる人が今後どんな動きをするか分からないときに、生ものの写真や人を使うことを心配しているところがあります。

結論として帝国書院、東京書籍、どちらも甲乙つけ難いというところがありますが、全体のバランスが良い東京書籍のほうが教える立場からすると良いということになりました。

以上です。

#### ○清水教育長職務代理者 それでは、私から。

東京書籍です。本文が分かりやすい。良い資料が多くて、そこから生徒が課題を見つけ対話的な授業を創造できる内容で、教師が授業の中で使いやすい教科書であると思いました。

教育出版です。本文の中に資料番号が示されています。これは他者の教科書も同じように示されているんですが、色とか大きさとか、割と教育出版は目立つんですね。そうすると、本文を見ていて結構この番号が気になります。なので、その大きさとか色合いとかそういったことをもうちょっと工夫されると、本文に集中しやすいページになるのではないかと感じました。「公民の窓」は良い資料が多くあると思います。ただ、単元末の問題というのはちょっと扱いにくいかなと感じました。

それから帝国書院です。本文、これがとても分かりやすい。学習のまとめまで含めてバランスがいい教科書だと思います。「アクティブ公民」というのは、内容がちょっと高度でシンプルさに欠けるかなと感じました。

それから自由社ですけれども、単元によってはボリュームに偏りがあるなど思いました。資料が少なめでグラフや表から生徒が課題を見つけにくいのではないかと感じました。中立的な立場でない記述も見受けられました。

育鵬社ですけれども、83ページに現在の政党と党首の写真があります。94ページには古い写真が含まれていて適切ではないなと感じました。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、社会（公民的分野）につきましては東京書籍と帝国書院が評価が高かったわけですけれども、東京書籍のほうが若干ではありますが、皆さんの押しが強かったのではないかとということで、東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、社会（公民的分野）に関わる協議を終了いたします。

次に、社会（地図）について協議を行います。説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、地図についてご説明申し上げます。

地図の教科用図書の発行者は2者です。

地図は社会の中で活用する教科用図書でございますので、地図としてだけの目標を示されておりませんが、資料2、3ページに配慮事項等をまとめてございますのでご確認ください。

次に、採択協議会の協議では、帝国書院と東京書籍は同じような地図でもアプローチの仕方が違う。帝国書院は船の航路が載っていて学びが深まるのではないか。帝国書院は凡例があり何が記載されているのかが分かりやすいが、東京書籍は凡例が書いていないページがあるため何が記載されているのかが分かりにくいなどの意見が出され、帝国書院が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で東京書籍ではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、帝国書院を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいですか。

特に質問がございませんようでしたら、地図についてご意見をお願いいたします。

岩崎委員。

○岩崎委員 先ほど地理のときにもお話ししましたが、地図というのはとても見えてい

ろいろな情報があつて楽しいものです。どちらもそういう意味ではきちんと地図の性質を捉えているので、先生方がどう使うかによって、どの教科書も良いのではないかと思います。

その中でどうやって見ていくかということですが、東京書籍は色合いが落ち着いていて良かったのですが、例えば海嶺の表記を見ると、色が明確じゃないので印象に残らないということがありました。帝国書院は地図中に特産物のイラストとかがあつて情報量がより多くて、この国はこういう特産物があるんだなと印象に残る点では、学習情報的にはいいと思いましたし、生活文化的な資料が充実している印象がありました。私としてはどちらの教科書も良いと思いましたが、学習という観点に立つと、生活文化的な情報量という点で帝国書院のほうがより望ましいのではないかと思います次第です。

○清水教育長職務代理者 いかがでしょうか。

高橋委員。

○高橋委員 私も帝国書院が良いと思いました。理由としましては、地図の色合い、そして文字の大きさ、あとは国境や県境などの分かりやすさというところが良かったというところと、あともう一つは、デジタルコンテンツが充実しているので帝国書院がいいのではないかと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 森田委員。

○森田委員 地図2者ですが、非常に甲乙つけ難く、どちらも良かったんじゃないかなというふうには思います。ただ、統計、まとめ、索引等々、資料集らしいところを比べてみたときに、帝国書院のほうが見やすく調べやすいものだったんじゃないかと思います。

特に索引のレイアウトは細かく入ってはいるんですけども、東京書籍は若干見づらい、帝国書院のほうが見やすいというところで、帝国書院かなと思います。

○清水教育長職務代理者 では、私からです。

帝国書院ですけれども、地図の機能として見つけやすさというのが大切だと思っています。文字の大きさとか色合いが適切であると、あと国境が分かりやすいというような点ですね。地図を見たときに、例えば平野であるとか山地であるとか、その地図の色合いで土地の様子が伝わってくるんですね。そういった点では帝国書院が優れているなと思いました。

それに対して東京書籍ですけれども、色合いが帝国書院と大分違うんです。私個人の

見解ですと、土地の高低とか土地の雰囲気伝わりにくいというふうに感じました。あと文字の大きさとか情報量というのもあると思うんですけども、東京書籍のほうが若干ごちゃごちゃ感みたいなものがあるかなと思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、社会（地図）につきましては帝国書院を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、社会（地図）に関わる協議を終了いたします。

次に、数学について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、数学についてご説明申し上げます。

数学の教科書の発行者は7者でございます。

教科の目標は資料2の3ページに記載のとおりでございます。

次に、採択協議会の協議ですが、習熟度別指導をしていると、苦手な生徒にはヒントが多いと良い。生徒が見て分かりやすいというところで見たところ、東京書籍が良いのではないかと。東京書籍は日常生活と数学の関連性について丁寧に導入部分で取り扱っている。新興出版社啓林館のデジタルコンテンツはとても充実しているようだ。見て学ぶというところはいい。ただ、何でもデジタル化することについては気になる。また、負の減法の説明はやや飛ばしぎみのように思う。日本文教出版や数研出版の学びの自己評価は良いが、巻末では活用されづらい。大日本図書は令和2年検定済み教科書のため扱っている資料が古い。学校図書のコラムは身近が良いが、図形学習に関して連続性はどうかなどの意見が出され、東京書籍が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で新興出版社啓林館ではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 大日本図書は令和2年検定済み教科書という説明でしたけれど

も、補足をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 大日本図書につきましては、不当な利益供与があり贈賄罪が確定をしております。そのため文部科学省は、教科用図書検定規則に基づき、令和5年度の中学校用教科書検定において、当該者が発行する数学、理科、保健体育の3教科を不合格としているということでございます。

○清水教育長職務代理者 数学のほかに理科、保健体育も同様ということですね。

ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら数学についてのご意見をお願いします。

高橋委員。

○高橋委員 まず東京書籍は社会とのつながり、身の回りとのつながりなどが含まれ、社会を生きるために活用する数学という位置づけというのがとてもいいなと思いました。話合いや予想を大切にしていると感じました。

大日本図書は、話合いへの導入というよりは生徒が1人で考えを深めるというような教科書に感じました。解説などはとても分かりやすかったと思います。

学校図書は、図解の見せ方がとてもいいなと感じました。また、問題の解答を二次元コード内に入れるというのも良かったというふうに思います。

新興出版社啓林館は、協働的な学びができる構成になっていて巻末の例題も良かったと思います。

中学1年生では多面体を学びますけれども、そのときに東京書籍のものだけが、のりやテープなどを使わずに作成できるような形になっているというのも、とても良かったと思います。また、二次元コードを見ますと、問題の証明や図形、根拠など細かいところに行き届いているのも東京書籍は良かったと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 森田委員。

○森田委員 数学の教科書は、全体的に中学生のキャラクターを使って一緒に考えているような記述がある教科書が多かったように思います。その中で数研出版ですが、キャラクターの表情が割と一方向でずっと口を開けているというようなところで、この子供たちは何をしているんだろうと逆に気になってしまうというところで、まず個人的には除

外をしました。

続きまして、東京書籍はレイアウトが非常に良くて見やすくきれいでした。マイナス部分が全くなく、個人的には東京書籍が良かったように思います。

学校図書も身近な話題で非常に良かったとは思いますが、見比べたところ東京書籍のほうが良かったように思いました。

新興出版社啓林館も、キャラクターが外国の方たちも入れてみんなでやっているようには見えるんですが、もうちょっとキャラクター性が出る、この子がどう学んでいくのかというところの差をつけていってもよかったんじゃないかなというふうには思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 数式を見ている分にはどの教科書も同じなので、先生方が教えるという意味では、どの教科書を使っても一定水準以上の教育効果はあるだろうと思いました。その中で、教科書のレイアウトやフレンドリーさというのか、子どもたちに数学をいかに身近に感じさせるかというデザインとか働きかけの言葉、そういうものが重要かと思いました。

そう考えますと東京書籍は、美しいレイアウト、分かりやすさ、それから数学が身の回りにつながるというコンセプトが数学を苦手と思う生徒にも良いと感じました。例えば、章立ての中で「何々しよう」、例えば、「自由研究をしよう」という働きかけをする表現があって良いと思いました。さらに、数学というのは差が出る教科ですので、発展的な内容も含まれていて、それぞれのお子さんにとっていずれにしても働きかけがあるという点で良いと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 私から。

今、岩崎委員が美しいレイアウト、東京書籍は美しいレイアウトという話をされたんですけれども、ちょっと私は違う視点でこの東京書籍を見たときに、余白と文字、数式のバランスというんですか、これがいいなと思うんです。というのは、小学校で算数が苦手だなという意識を持って中学校に入学してくる生徒が少なからずいるんですけれども、教科書を見たときにものすごく情報量が多くて数式がいっぱい並んでいると、苦手意識がそこでまた膨らんでくるわけです。そういうことを考えると東京書籍のレイアウト

ト、それからバランス、とても見やすくていいかなと感じました。それから章末の問題の分量、これもちょうどいいなと思います。対話的な学びにも発展できる教科書となっていて、私も東京書籍がいいなと思いました。

それから大日本図書ですけれども、導入がとても工夫されています。それから基本問題、それから発展問題、この分量もちょうどいいかなと思いました。

学校図書ですけれども、導入は工夫されているんですけども、全体的にちょっと扱いにくいかなと感じました。活用問題は読みごたえがあって、対話的な学びに発展させることもできていいなと思います。

それから教育出版です。導入が工夫されています。本文は参考書的だけれども、学ぶプロセス、これはいいなと思います。問題によって性格づけがはっきりとしていていいなと思いました。

それから新興出版社啓林館、説明がとても分かりやすい。主体的・対話的な学びにも向いている作り方がされていると思いました。

数研出版、東京書籍と並んで余白が多くて見やすい紙面構成になっています。ただ、学年によってですけれども、2年生は情報量がちょっと多いなと思いました。教科書の本文ですけれども、主体的・対話的な学びをこの教科書で実現するとなると、ちょっと使いにくいかなというところが散見されました。

日本文教出版です。導入は工夫されています。ただ、この教科書の練習問題、これは難易度がちょっと簡単なんです。ですから、そのところがほかの会社と比べるとちょっと違うなと思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を伺った結果、数学につきましては東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理人 それでは、このように決定いたします。

以上で、数学に関わる協議を終わります。

次に理科について協議を行います。説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、理科についてご説明申し上げます。

理科の教科書の発行者は5者です。

教科の目標については資料2の3ページに記載のとおりです。

採択協議会の協議では、大日本図書はイオンについて正確に書かれているように感じる。東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館の表現は曖昧さがあるのではないか。大日本図書は正確さがあるのはいいが、前回の検定済み教科書のままであるので内容が更新されていないのではないか。少なくとも写真は古い箇所があり、武蔵野市の生徒の学びを4年前と同じものにするというのは忍びない。教育出版は宇宙の学習の際に天体観測を導入で取り上げているが、本市はセカンドスクールで既に天体観測を体験しており、他者の太陽系と恒星という興味・関心を引く内容から入るほうが良いのではないか。東京書籍は教科書のつくり課題が少なく、新興出版社啓林館は学習を深めるという点で先生方から評価がされているように思うなどの意見が出され、東京書籍が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で新興出版社啓林館ではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、特に質問がございませんようでしたら理科についてご意見をお願いします。

森田委員。

○森田委員 学校図書です。内容は非常に良かったなと思うんですが、ほぼ全ての教科書を見渡しても写真に載る文字に白縁をつけている教科書というのはあまりなくて、ただ、学校図書の理科のみ非常に分厚い白縁が入っている。これはデザイナーさんが間違っただんじゃないかと思うぐらいに不自然なレイアウトになっていて、そこだけが本当にずっと気になってしまい、学校図書はちょっと違うのかなというふうには思いました。

新興出版社啓林館、東京書籍は非常にとてもレイアウトもよくまとまっていますし、興味を引く内容になっていたと思います。単元もまとまっていて、子どもたちが学びやすい教科書はこの2者だったかなと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 岩崎委員。

○岩崎委員 私は、理科というものは客観性や実証性が問われる教科なので、事実を正確に書いていただきたいという思いがありました。その1つの観点から全部の教科書を拝見してみました。特に最近の社会的話題になっている気候変動の点で地球温暖化というところを全者拝見したところです。

地球温暖化の話は、政治的な問題も絡み学問的な分野によって見解が割れているところです。地球温暖化が温室効果とかCO<sub>2</sub>であるとする主張がある一方で、長い人類の歴史の中で太陽活動の影響で気温が上がっているということを強く主張している学会もあります。その点から拝見すると、ほか多くの会社がCO<sub>2</sub>の増加によって温室効果が生じているということを書いている中で、大日本図書だけは、人間の活動が盛んになってきたことが地球温暖化の原因の一つであると考えられているという表記の仕方をしていくことに、私は大変好感を持ちました。教科書採択協議会の意見にも、大日本図書はイオンについても正確に書かれているというご指摘がなされています。そのため大日本図書が本質的には一番いいと思いましたが、非常に残念なことに最初にご説明があったように、この教科書会社はその後事情があつて事実が更新されていないということがありましたので、除外せざるを得ないと伺いました。残る発行者に関しましては、皆さんがご指摘されたように、一番使いやすい教科書として出されている東京書籍がバランスが良いという結論に私も合意しました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 高橋委員。

○高橋委員 理科は各者ともに様々共通項がありますので、私は花のつくり、物質の分類、火山・鉱山、葉のつくり、気象、物体の運動など、共通している内容について比較検討いたしました。その中で良かったと思ったのは東京書籍と学校図書でした。どちらもいいなと思ったんですけども、写真の鮮明さ、きれいさというところで東京書籍がいいのかなというふうに感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 それでは、私から。

東京書籍です。小単元の写真が良く、生徒がそこから課題を持てるようにしています。教科書の構成がいいと思います。課題が明確であり、そこからの話合いで表現力が高まり思考力が磨かれていくと考えました。知識のまとめも良いと思います。思考が深まり

話し合うことによって言語能力の高まり、こういったことが期待できると思いました。単元末の学習内容の整理、これは簡潔で見やすく、確認をするのにとっても良いまとめだと思いました。確かめの問題も活用の問題も内容が良く、武蔵野市の生徒には分量・内容とも良いのではないかと思います。細かいところになりますが、理科室の決まり、理科室の心得、やってはいけないことの三原則、これはとても良いと思います。ただ、活用の誤った行動というのが10個あるんですけども、これは要らないと思います。それから3年、運動とエネルギー、これスケートボードの写真が出ているんですけども、ここから課題を見つけるというのは非常に難しいなと思いました。

続いて大日本図書です。小単元の写真が小さくて十分とは言えないが、写真や挿絵、イラストはとても効果的であると思います。実験・観察をととても大切にしています。実験結果の例は参考になる一方で、生徒の実験の邪魔にもなる可能性があるなと考えました。それから1学年の268ページからの探求の進め方の中で、272ページの下の話合いの仕方、発表の仕方、これは特にいいなと思いました。それから理科室の決まり、心構えと2つの注意、これはいいのですが、初めの決まりを守っていない例、これはちょっとふざけ過ぎていて不要であると思います。運動とエネルギーの単元でジェットコースターの位置エネルギーと運動エネルギー、この関係がとても分かりやすく、課題づくりにはとても良い写真を提示しているなと思います。

続いて学校図書です。小単元導入の写真がダイナミックで課題発見につながりやすい。これはとてもいいなと思います。それから実験結果の記録からどう考察するのかのまとめまで詳しく記述されています。結果から考察に向かうときの考え方、表現の仕方が分かりやすいと思います。単元末の学習のまとめ、基本問題ともに少し物足りなさを感じました。それから力の性質の単元でねぶたの写真が出ています。ここから課題をつくるのはほぼ無理かなと思います。大きな写真でそこから課題を見つけて学習活動が展開していくときにどんな写真を使うかというのは、非常に大切な要素だと思います。それから余白を生かして見やすい工夫をしている。これはいいと思います。ただ、気になったのは、文字がとても小さい箇所があるということは少し残念だなと思いました。

それから教育出版です。写真やイラストがとても良くできており、生徒の興味・関心を高めている。探求的な学習課程の展開は思考力・表現力を育成する上で良いと思います。知識のまとめもよく整理されています。実験の進め方が簡潔に表現されており、結果と考察は生徒が自分で考えて表現するようになると、教科書から学ぶというより自ら

の学びを教科書で確認する、こういった流れがこの教科書の特徴であり、これはとてもいいなと思いました。それからとても残念なところを申し上げます。重要な言葉についていろいろな誇張の仕方があると思うんですけれども、教育出版はオレンジ色のゴシック体で書いています。このオレンジ色というのが健常者にとっても見やすい色とは言えないのではないかなということで、このところは改善をされるといいかなと思いました。

それから新興出版社啓林館です。実験の仕方の記述では目的、方法、結果、考察までシンプルにまとめられています。結果の記述や考察が分かりやすいとは言えず、先生の力量によっては使いやすくもあり、使いにくくもなるのではないかと思いました。それから単元末の学習のまとめは東京書籍の次、教育出版と同じぐらいよくまとまっていると思います。力試しの問題も内容が良いなと思いました。学年末と中学校の総合問題、これは文章を読んでから個々の問題に取り組むという形を取っていて、とても面白いと思いました。

私からは以上です。

それでは、お諮りいたします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、理科につきましては東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理人 それでは、このように決定をいたします。

以上で、理科に関わる協議を終了いたします。

次に音楽（一般）について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、音楽（一般）についてご説明申し上げます。

音楽（一般）の教科書の発行者は2者でございます。

教科の目標につきましては資料2の3ページに記載のとおりでございます。

次に、採択協議会の協議ですが、日本の昔からある文化や音楽についてしっかりと触れている教科書が良い。その点、教育芸術社は越天楽など宮廷音楽を1年生からしっかりと載せている。二次元コードだけでなく紙面上にしっかりと載っているのが良い。両者とも作り込まれているが、教育芸術社は1年生から著作権について触れている。こうした内容を早い段階から教えていくことは大切である。二次元コードのリンク先の機

能も音と楽譜が連動して演奏するなど分かりやすく、教育芸術社のつくりが優れているなどの意見が出され、教育芸術社が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で教育出版ではないかと協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、教育芸術社を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら音楽（一般）についてご意見をいただきたいと思えます。

高橋委員。

○高橋委員 教育出版は、64ページにコンピューターで表現しようという、今までにはない新しい音楽の形が書かれているのがとてもいいと感じました。ページにも余白があり見やすかったです。

教育芸術社のほうは、15ページに「声の出る仕組み」ということで、ちょうどその時期に当たる変声期の説明などが詳しく書かれていたのはとても良かったと思えます。また、50ページの日本音楽入門なども読み物としてとても面白いと感じました。教科を通じてもっと学んでみたい、深く知りたいというふうに思えるのは教育芸術社のほうではないかなと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 森田委員。

○森田委員 今の音楽の教科書は、こんなふうに伝統音楽からジャズ、ロック、ポップスまで幅広く学んだなというのに感銘を受けつつ、子どもたちも楽しい授業ができるんだろうなと思って、どういう内容なのか見させていただきました。

2者とも甲乙つけ難く、著作権にしっかり触れられている内容があったのは非常に良かったなと思えます。教育出版です。音楽の著作権は必ず学んでおいたほうがよいので、それを音楽で学べるのは良かったんじゃないかなと思えます。

教育芸術社も非常に良かったんですが、2年生の教科書の中にクイーンを扱ったページがあるんですが、フレディ・マーキュリー、クイーンは僕もすごい大好きなんですけ

れども、使われている写真があまり適していないのではないかと、もうちょっと格好いい写真があるんじゃないかというのは、かなりこだわって前回臨時会でも話をしたところでございます。

以上です。

○清水教育長職務代理人 では、岩崎委員。

○岩崎委員 音楽は学校経営の観点から非常に大きな意義があると考えております。合唱をやる、あるいはみんなで一緒に器楽をやるというのは、学校経営上、子どもたちを一体化させる際の有効な手段と考えますと、私は教育出版のレッツ・トライというところでケチャをみんなでやるとか、指揮をやってみようというところは、体験的で楽しそうでいいなと思いました。音楽の体験を家庭でできないようなお子さんの多い地方自治体では、教育出版が非常に大きな教育効果を持つと感じたところです。

一方で、武蔵野市は小学校から既に音楽に非常に多く触れるような環境設定をしているところですので、教育芸術社は学問的で理論的な情報が多く、武蔵野市の基準からすると、体験的なものよりもこういった学術的なほうが優れているのではないかと、皆さんの議論を聞いて感じたところです。

以上です。

○清水教育長職務代理人 それでは、私からです。

教育出版は色合いが見やすく鑑賞に力を入れていると、「魔王」、これはシューベルトですね。あとヴェルディの「アイーダ」、こういったものの写真とか資料がとても分かりやすいなと思いました。

それから教育芸術社、こちらは鑑賞の説明が丁寧にされています。和楽器も分かりやすいと思います。私はこの教育芸術社のいいなと思ったところなんですけれども、QRコードでカラオケじゃなくてカラピアノを読み取って音を出すことができるんですね。これは例えば歌のテストがありますよというときに自分で練習できる。それからグループごとに分かれて歌の練習ができる。そういった使い方がいろいろできて、こういったものが教科書に載るとというのは、これからの教科書に必要なじゃないかなと思います。そういう意味で教育芸術社の取組というのは評価していきたいなと思っています。

それでは、お諮りいたします。

これまでに皆様のご意見を伺った結果、音楽（一般）につきましては、2者あってそれぞれの教科書の良さが委員の方から出されましたけれども、教育芸術社のほうが一歩

リードしているのかなというふうに考えて、採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、音楽（一般）に関わる協議を終了いたします。

次に音楽（器楽合奏）について協議を行います。説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、音楽（器楽合奏）についてご説明申し上げます。

器楽合奏の教科書は2者です。

教科の目標については資料2の3ページに記載のとおりでございます。

次に、採択協議会の協議では、教育出版のほうが、こうやって押さえてギターをやるんだななど、演奏したくなる。教育芸術社は学びのコンパスがあり、音楽性を高める工夫がある。教材名の横に何を学ぶのかが記載されており、生徒が目標を持って学習に取り組むことができる。器楽の演奏をどの子もやるのであれば基本的なことをしっかり押さえないといけないが、和太鼓の指導内容などは細か過ぎる。中学生が授業で学習することを考えると教育芸術社がふさわしいなどの意見が出され、教育芸術社が武蔵野市の生徒が使用するのに適しているのではないかと、次点で教育出版と協議結果をまとめました。

そして先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、教育芸術社を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。

よろしいですか。

特に質問がございませんようでしたら音楽（器楽合奏）についてご意見をお願いします。

岩崎委員。

○岩崎委員 どちらも良いなと思いました。教育芸術社は満遍なく様々な楽器が取り上げられていてバランスが良い印象でした。

教育出版は、世界の楽器の写真が多く載っていて興味・関心を引きました。太鼓のた

たき方が分かりやすく太鼓をやりたいなと思ったところですが、お伺いしたところ太鼓がそこまで学校にそろっていないという実態を知りまして、非常に残念だと思った次第です。いろいろな楽器を取り上げてバランスがいいという点では、教育芸術社が良いのではないかと考えた次第です。

以上です。

○清水教育長職務代理者 では、森田委員。

○森田委員 教育出版ですが、ギターの演奏などがかなり細かく載っていて、「あれっ、これを見れば僕も弾けるようになるのかな」というぐらい丁寧に書かれてあって非常に好感を持ちました。中学生であれば多分ギターに興味を持ったり、いろいろな楽器に興味を持ったりしていくと思うんですけども、それに寄り添ってくれる教科書だったんじゃないかなと思います。

一方、教育芸術社も満遍なく過不足なくといいますか、適した教科書だったなと思いますし、音楽（一般）と合わせるということであれば、合わせたほうが学びやすいという観点で言うと教育芸術社かなと思います。

以上です。

○清水教育長職務代理者 高橋委員。

○高橋委員 教育出版は、太鼓のたたき方が非常に分かりやすく載っているなと思いました。

教育芸術社は、リコーダーの学習で舌の使い方が示されているのはとてもいいと思いました。また、68ページにバンドの世界をのぞいてみようというところで、生徒の興味・関心を引きつける内容だったのではないかと思います。とても新しいなと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 では、私から。

今、皆様のご意見を伺っていても同感だなと思います。教育芸術社、演奏者の姿勢や表情、写真が効果的に使われていていいなと思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を伺った結果、音楽（器楽合奏）につきましては教育芸術社を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で、音楽（器楽合奏）に関わる協議を終了いたします。

次に美術について協議を行います。説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、美術についてご説明申し上げます。

美術の教科書は3者です。教科の目標につきましては、資料2の4ページに記載のとおりです。

次に、採択協議会の協議では、光村図書出版は国語とのつながりを示している。和紙を使ったページに感動した。光村図書出版は資料も写真撮影に関する資料などがあり、使いやすそうである。開隆堂出版の表紙は触感を大事にしているのが良い。日本文教出版は作品だけでなく、ピカソという人物に焦点を当てているのは良いなどの意見が出され、光村図書出版が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で開隆堂出版ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では委員の皆様から各社の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、光村図書出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら、美術についてご意見をお願いします。

森田委員。

○森田委員 開隆堂出版です。表紙、UVだと思うんですが特殊加工がなされていて、触感、触った感じというのが分かって非常に興味深いものになっているんじゃないかなと思います。内容面でも漫画やアニメを使って身近なところを取り上げながら美術、デザインということを学べるものになって非常に良かったと思います。個人的には「美術とともに生きていく」という、美術に興味を持った子たちがこの先、大人になっていくときに、こういう仕事があるんだ、こういうふうに美術とともに生きていけるというふうに考えられるというのは本当にいい項目だったなと思っています。

一方、光村図書出版ですが、こちらも非常に内容が良く、漫画、アニメを扱った内容

が入っており、これだと美術が苦手な子でも興味を持って授業ができるんじゃないかなと思っています。これも私たちの中で割れたんですが、光村図書出版は分冊のほうでこういう資料がまとまっていて、これが非常に良い、内容としては非常に良いんですが、分かれているからこそどこかに行ってしまうんじゃないか。なくなっちゃうんじゃないかという懸念点は私個人としては持ちました。でも、バランスの良さで光村図書出版が良いのではないかという話になっています。

以上です。

○清水教育長職務代理人 高橋委員。

○高橋委員 美術は本当に悩みました。

まず、開隆堂出版です。表紙を見た瞬間に、これしかないでしょうというふうに思ったぐらいにすばらしい。やはり触感でも感じられる美術というのはとても斬新だったというふうに思います。52ページのところでも、原寸大で載せているというのもとてもいいなと思っています。とても芸術性が高い教科書だと感じました。

光村図書出版は、まず40ページに風神雷神がとても迫力があるというふうに感じました。2・3のところの24ページ、明日の神話が渋谷駅に飾られているものですので、生徒たちにとっては身近に感じられるものではないかなと思いました。27ページは紙質を変えて日本らしさというのを表現している。また、近代的なデザインというのを多く取り上げられているというのはとても私は良かったと思います。身近な体温計や防災、映像の中でもデザインというものが大事になってきているというところがとてもいいと思いました。

日本文教出版は、4ページに原寸大、とても描き方がよく分かるように書かれていて、とても生徒たちの作品を大事にしているんだなと感じました。

光村図書出版と開隆堂出版は一番裏表紙のところ、そのところとかにもアートしているというか、バーコードのところとかに装飾がされていたりというところで、美術を徹しているなと感じたところです。非常に非常に迷いました。開隆堂出版のこれに触ってほしい、生徒たちに触ってほしいという気持ちもあるんですけども、でも、デザインというのもとても大切なことだと感じているので、内容として光村図書出版がいいのではないかなと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 では、岩崎委員。

○岩崎委員 私もとても悩みました。開隆堂出版の表紙はすごいなと思ってしまって、高橋委員と同じように衝撃的でした。生まれてからこれまで「ひまわり」は印刷の平べったく、実際の美術館に行かなければこの質感は全然分からない。これをこの油絵の質感をこんな小さいときからかばんの中に入れられるというのは幸福じゃないかと思いました。あるいはロダンの彫刻とか仏像などの写真も迫力があり、特に色彩について、最後のほうにいろんな色の種類が書かれていますが、色を印刷で表現するのは印刷が難しいとデザインを依頼するときに聞来ますが、色彩の違いが淡い色から表現されていて、とてもいいと思いました。美術館に行かなくても芸術に触れられてかばんの中に入れるだけで心が豊かになるという意味で、開隆堂出版の教科書がいいと思ったのです。

ただ、それは結局鑑賞するという側からの立場であって、先生方が創作を指導するのに際し、光村図書出版の教科書を使って指導してみたいという意見があったということなので、創作という点からは光村図書出版がよいのだろうと考えた次第です。内容として光村図書出版もまとまりも良いですし、芸術に関する情報も一定以上網羅されているので、光村図書出版ということで賛同いたしました。

○清水教育長職務代理人 それでは、私からです。

開隆堂出版の表紙はさんざん委員の方から出ましたけど、私も全く同感です。すばらしいなと思います。日本文教出版、自分がやってみたいと生徒が主体的になれるようなものが含まれています。学年ごとの分冊、これは特に問題ないかなと思います。開隆堂出版は鑑賞というところから見ると、いい作品がたくさん出ていて、これは開隆堂出版の良さじゃないかなと思っています。ただ、私は教科書の中身を見たときに、圧倒的に光村図書出版がいいなと思ったんですね。いろんなページがあるんですけど、例えば2・3というのの48ページ、49ページ、「躍動感を捉える」という、こういうページが出ているんですが、もうほかの発行者の教科書にはこういう躍動感のある写真がないんですよ。これを見ると、多分生徒は、じゃ、躍動感にあふれる作品を作ってみたいと多分思うでしょう。こういう作品を作るためには、どうしたらいいのかということも非常にきめ細かく書いてある。例えばスケッチから入って、それを針金でどういうふうにもスケッチを実現し、それに紙粘土を貼りつけて、こういった作品にしていくのかという具体的な作り方も出ているということは、美術の先生、ベテランの先生もいらっしやるでしょうし、なったばかりの先生もいらっしやると思うんだけど、どういう先生がこの教科書を扱ってもかなり子どもたちが創作活動に夢中になって、そして自分が作った

作品を人にも紹介し、満足の度合いも高いんじゃないかという、そういったことで考えると、本当に作品を作るという視点で見ると、やっぱり光村図書出版がだいぶほかの2者よりもいいなということを感じた次第であります。多分子どもの作った作品でないのかもしれないけれど、子どもにもやればできそうだと思う、そういった写真をダイナミックに載せているので、光村図書出版がいいなと私は思った次第であります。

以上です。

それでは、お諮りします。

これまで皆様のご意見を伺った結果、美術につきましては、開隆堂出版、光村図書出版、この2者が挙がりましたけれども、私が推したということではないですが、やはり創作ということでほかの委員の方もおっしゃっていましたので、光村図書出版を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で美術に関わる協議を終了いたします。

次に保健体育について協議を行います。

説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、保健体育についてご説明申し上げます。

保健体育の教科書は4者です。教科の目標や内容等については、資料2の4ページに記載のとおりでございます。

採択協議会の協議では、G a k k e nは生徒が学習内容について自分で追求する構成になっている。また、現実社会の中で自分がどういうふうを受け取るか、自分が主体的にどう考えるかというところを導き出すような仕掛けがしてあると感じる。東京書籍は最後のスキルブックが良い。大修館書店は体育理論のところではラクゼーションなどの記述がないという点が気になる。大日本図書は4年前のデータとなっている。保護者としてはやめてほしいのではないかと。応急手当てに係る指導はG a k k e nや東京書籍が充実しているなどの意見が出され、G a k k e nが武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で東京書籍ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では委員の皆様から各社の教科書の良さや気になる点などを細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまった

ところでございます。

以上で、説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら、保健についてご意見をお願いします。

高橋委員。

○高橋委員 武蔵野市では令和元年に「性の多様性を理解し尊重するまち武蔵野市宣言」というのがあります。なので、私は性の多様性が入っている教科書というのは選ぶべきだと考えております。G a k k e n、そして大修館書店は性の多様性の内容について触れているのでとてもいいと思いました。

大修館書店ですけれども、A S U K Aモデルや、また39ページのQ & Aの相談内容のコーナーなどもとても良かったと思います。

G a k k e nは、124ページのところに蘇生の具体的な方法や文章とか写真、イラストなどがとても分かりやすかったと感じました。

東京書籍は巻末のスキルブックがいいと思いました。大切な学習内容がコンパクトにまとまっていて生徒が学びやすい。内容的に全者ともに遜色ないんですけれども、一番分かりやすかったのではないかと感じました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 岩崎委員。

○岩崎委員 どこか視点を決めて見ようと思ひまして、私は薬物・アルコール等の依存のところを中心に拝見しました。その中で、特にこれからの子どもたちにとって注意しなければならないのはネット依存かと思ひまして、ネット依存を扱っているかどうかを見たときに、東京書籍と大修館書店は扱っていました。これからデジタル・シティズンシップやメディアリテラシーを推進する意味で、ほかのところの教科でもこの点を扱うんでしょうが、やはり薬物とかアルコール依存とともにネット依存もしっかり子どもたちに教えていかなければいけない視点かと思ひ、東京書籍と大修館書店は良いと思ひました。

G a k k e nはバランスが良くて見やすい構成になっており、これはこれで良く、今申し上げたように1つの視点だけで見ると、これらの教科書がいいとなりますが、全体として見るとどの教科書も良かったというところです。

○清水教育長職務代理者 では、森田委員。

○森田委員 大日本図書は、やはり令和2年度の検定教科書ということで選ぶべきでなかろうというところで除外しております。

東京書籍が情報のまとめ方、何を学んでいくのかというのが1つの見開きでまとまっているというところで、非常に学びやすい教科書なのではないかなと思いました。また、巻末のスキルブックがとても良くて、最低これだけ中学校で学んでおけば今後生きていくときに必ず役立つのではないかという圧迫法ですとか、そういう保健で学んでほしいものがきっちり入っているので、東京書籍が良かったと思います。エイズですとか最近の感染症、医療のほうの情報というかデータも東京書籍が一番新しかったように思います。

G a k k e nも、ウォームアップから学びを生かすという学習の流れが見開き単位でまとまっていて、いい教科書だなと思ったんですが、データの新しさ等々を含めて東京書籍かなと思います。

○清水教育長職務代理者 それでは、私からです。

大日本図書ですけれども、写真が興味・関心を高めるということと、内容もなかなか良くて非常に教科書としては私は評価しています。ただ、令和2年度検定というのがちょっと残念なことだなと思っているところです。

それから大修館書店、導入の写真がちょっと細かくて見づらいなと思いました。教科書の使い方というのは非常に分かりやすくなっていると。

それから、G a k k e nですけれども、ダイナミックな写真が多いんですが、例えば最初のところに、スポーツには世界を変える力があるって、非常に写真としてはいい写真だなと思うんです。ただ、スポーツというのはいろいろな種目があって、そういったものにいろいろスポットライトを当ててほしいと思うんですが、このいろいろある写真の中で、5枚がサッカーの写真なんです。あとは陸上競技ですね。スポーツってたくさん競技がある中で、何でこれだけサッカーを載せるんだろうというところがすごく私は引っかかりました。

東京書籍ですけれども、導入や学び方というのがやや詳し過ぎるなという嫌いはあります。ただ、肝腎の紙面構成、これはとても見やすい。そして内容が充実しているということで、4者比較すると、東京書籍がいいのではないかなと私は思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を伺った結果、保健体育につきましては東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で保健体育に関わる協議を終了いたします。

次に技術・家庭（技術分野）について協議を行います。

説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、技術分野についてご説明申し上げます。

技術分野の目標は資料2の4ページに記載のとおりでございます。

次に採択協議会の協議では、東京書籍のデジタルコンテンツが最新のものがたくさんあるというのは、生徒の意欲が増す。繰り返し視聴できることも安全にもつながるのではないか。技術は授業時数がそんなに多くないので、休んだとしても、これを見れば授業で作業ができるというのは良い。開隆堂出版のコンテンツは資料が古いというだけで、子どもは拒否反応をするのではないか。教育図書のスキルアシストは紛失する可能性もあり、メリットがないなどの意見が出され、東京書籍が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で開隆堂出版ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、東京書籍を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら、技術・家庭（技術分野）についてご意見をお願いします。

森田委員。

○森田委員 3者、非常にいずれも良く甲乙つけ難かったかなと思います。ただ、やっぱりバランス的に東京書籍が良くて、情報の技術、技術というと昔のイメージだと電のことかカンナだけなのかなと思ったんですけども、今、子どもたち、テクノロジー関連

も含めて学べるというのは非常に興味深く見ていきました。その中でもやっぱり東京書籍がよくまとまっていたのではないかなと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 岩崎委員。

○岩崎委員 私も東京書籍、教育図書、開隆堂出版いずれも良いと思いました。未来志向という観点から見たときに、開隆堂出版は「生物育成の技術と私たちの未来」で未来的な技術の内容が書かれていて非常に興味深かったです。

東京書籍はやはり安定しているのとバランスが良く、学習のチェックが各所に入っているのも良いと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 高橋委員。

○高橋委員 まず、開隆堂出版は文字の大きさがとても見やすいと思いました。27ページの機能構造などどこに注目すべきかが明確に書かれていたと思います。二次元コードも動画がとても良かったと思うんですが、音声はコンピューターっぽかったのがちょっと残念に感じました。

教育図書ですけれども、安全について丁寧に書かれているのはとても良かったと思うんですが、201ページのLINEの内容なんですけれども、ここに「明日の夜、誕生日パーティーしない」というふうな記述内容がありました。これが週末とかだったら良かったと思うんですけど、ここであしたの夜、誕生日パーティーをいいねと言ってしまうのはちょっと内容として問題があるのではないかと感じたところです。

私も最終的には東京書籍がいいなと思いました。ページが全体的にまとまっていたし、また、プログラミングについて一番分かりやすいなと感じました。ちょっと内容が細かいかなと思ったんですけれども、武蔵野市の子どもたちならば、このぐらい詳細でもいいのかなと思いました。212ページの情報モラルについて書かれているのも良かったと思います。

以上です。

○清水教育長職務代理人 それでは、私からです。

内容的には3者とも非常にいいレベルに達しているなと思いました。細かいところを言うと、教育図書ですけれども、説明は詳しいです。これとてもいいんですが、色合いが見やすくないかなということを感じました、微妙なところではありますけれども。

それから開隆堂出版、単元の初めに他教科との関連が示されている。これは開隆堂出版だけでした。

それから東京書籍、イラストがとても分かりやすく描かれています。これはすごく大事な要素だと思います。それから、デジタルコンテンツが充実している。特に技術・家庭ですから、非常に大事な要素かなと思っています。内容が最新の内容になっていて見やすいというようなことがあって、東京書籍が一步リードしているという感じを受けました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

これまでに皆様のご意見を伺った結果、技術・家庭（技術分野）につきましては東京書籍を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で技術・家庭（技術分野）に関わる協議を終了いたします。

次に技術・家庭（家庭分野）について協議を行います。

説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、家庭分野についてご説明いたします。

家庭分野の教科書は3者です。家庭分野の目標についてですが、資料2の4ページの準備に誤りがあったことが分かりましたので、現在差し替えを用意しております。申し訳ございませんでした。

次に採択協議会の協議では、ミシンと調理しかなかった頃から、学問として経済や経営など専門的な部分が増えてきた。一方で、基礎的な部分をどう埋めるかを考えると、東京書籍が良いのではないか。開隆堂出版のようにマニアックなところから入るというのも面白いように思う。消費生活について、教育図書が買物を振り返ってみようから入るのは分かりやすいが、東京書籍の「最近何にお金を使ったか振り返ってみましょう」という問いかけはより分かりやすく、入りやすい内容となっていると思うなどの意見が出され、東京書籍が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で開隆堂出版ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細か

くご意見をいただいた上で、開隆堂出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

先ほど、資料2の差し替えのことをお伝えしましたが、教育委員の皆様には前回の臨時会のときには正しい資料がお渡しできておりますので、ご協議を続けていただければと思います。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。よろしいですか。

それでは、特に質問がございませんようでしたら、技術・家庭（家庭分野）についてのご意見をお願いします。

岩崎委員。

○岩崎委員 自分が受けた家庭科のときの内容と家庭分野の内容がここまで進化しているのかと、3者の教科書を読んで非常に驚きと感動を持ちました。家庭を担うということが社会現象、経済、経営、いろんな専門的なことを学ぶことだとの内容がどの会社の教科書にも取り込まれていて、現代的な対応をされていることを知りました。

その中で一応幾つかの観点で見ました。まずは家族の考え方、家族の概念についてどう取り扱っているかを見たときに、多様な家族形態が今、出てきているわけですが、東京書籍と教育図書は、多様な家族を漫画やアニメ、ドラマなどを例示するにとどまっていた。

開隆堂出版は多様な家族の形態について具体的に示していて、教育的であり、学校現場にいろんな家族形態の生徒がいるときに、多様な家族のあり方があることを前向きに取り扱うのはいいなと思いました。開隆堂出版は消費者トラブルを中学生の問題として身近なものとして取り上げていますし、男女の性役割観の変化についても言及しています。それから、就労に関する未来的発想などの箇所もあって、新しい社会の動向を踏まえた、いろんな概念の変化を積極的に取り入れているという点で、開隆堂出版が一步先行っているかなという印象でした。

以上です。

○清水教育長職務代理者 いかがでしょうか。

高橋委員。

○高橋委員 私も開隆堂出版がいいなと思いました。74ページに子どもの権利条約や児童

虐待などの記載があったことがとても良かったと思います。

東京書籍はちょっと文字が細かいのかなと感じました。

1点、開隆堂出版なんですけれども、右上のところに小さく赤ちゃんのとか子どもたちの絵とか写真が点在しているんですけれども、あれが非常に私は気になりまして、何か理由というものがあれば関連づけられるんですけれども、あまりそこが関連性を感じられなかったので、それがよく分からなかったです。

以上です。

○清水教育長職務代理者 では、森田委員。

○森田委員 家庭科の教科書も前回臨時会などで意見が割れたところだったかなというふうに記憶しています。

開隆堂出版、中身は非常に良かったですし、写真の差し替えとかいろいろ発生したこともあったんですが、非常に誠実な対応している発行者なんだなと思いました。ただ、右ページの上のほうにQRコードと子どもの写真が入っているんですが、子どもの写真はどういう感情で見ているのか分からず、何で入っているんだろうというのがやっぱりどうしても気になってしまう。あと二次元バーコード、QRコードの位置もばらばらばらとやっていくと分かるんですが、絶妙にずれていて、どういうレイアウトしたんだろうかというのが、僕も本を作るのが仕事なので気になったところです。

東京書籍は、色合いが穏やかで非常に見やすい教科書だったなと思います。見開きごとの内容のまとめり方も非常に良かったなと思いました。ただ、冒頭にアニメ、漫画に見る暮らしの例ということで、家族の成り立ちみたいなのが載っているんですが、そこに野球漫画の「MAJOR」という作品が載っているんですけれども、「MAJOR」の家族関係は非常に複雑で、本人のほかが全て養父、養母、義弟、義妹と書いてあるんですけれども、これ正しいんですが、多分説明しにくいだろうなと思ったので、「MAJOR」じゃなくて良かったんじゃないのというふうに思いました。

教育図書、色数も多くてちょっと目がちかちかするなと思いましたが、食べ物の写真は一番おいしそうでした。

以上です。

○清水教育長職務代理者 それでは、私からです。

3者ありますけれども、どれもそれぞれいい特色があって、甲乙つけ難いぐらいのレベルかなと思います。本当に調理の写真、今、森田委員が教育図書でしたっけ、一番料

理がおいしそうだというお話がありましたけれども、開隆堂出版、東京書籍もそんなに劣ってはいない。それぞれとても工夫されていた写真で、内容がいいなと思っています。

細かいところまで見ていったときに、説明の本当に微妙なニュアンスとか、それから本文の内容の分かりやすさとか、そういったものを比較していったときに、やっぱりかなりいろいろと私たちも議論したんですが、開隆堂出版の中身がほんのちょっとですけどやっぱり他の2者よりも優れているのではないかなと感じております。ただ、いい内容で、しかも中身が非常に精力的で、いろいろなものに触れている。これも私とても気に入っているんです。例えば開隆堂出版には、浴衣の着つけの絵が出ているんですよ。これはほかの2者にはない。ああ、いいなと。やっぱり浴衣を着るときに一番大事なものは帯の締め方なんですよね。開隆堂出版でいうと、このページに出ているわけですけど、一枚一枚絵を使って、きっと分かりやすく説明したつもりなんだろうと思うんですけども、私もふだん着物を着たりするんですが、貝の口という帯の締め方、これ一番締めやすい帯の締め方だと私も思うんですが、ただ全く着たことがない子どもがこれを見て、ちゃんと締められるのかなという思いは持ちました。だから、これを載せたことの勇氣というのは私は非常に高く評価したいなと思っているところですけども、例えばいろいろなユーチューブだとかいろいろな中で、映像で帯の締め方を見せているものが結構多いです。だから、例えばQRコードでそういったものを実際に動画で示したら、そしたら子どもでも分かるんじゃないかなというようなことを思ったので、ちょっと参考にしてもらえたらいいかなと思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

これまでに皆様のご意見を伺った結果、技術・家庭（家庭分野）につきましては開隆堂出版を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で技術・家庭（家庭分野）に関わる協議を終了いたします。

次に外国語・英語について協議を行います。

説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、英語についてご説明申し上げます。

英語の教科書は6者です。教科の目標につきましては、資料2、5ページに記載のとおりです。

採択協議会の協議では、東京書籍はSDGsの観点から、エシカルファッションを取り上げているが、内容的に少し難しいように感じる。一方で、武蔵野市の生徒の英語力だと使いやすさと内容の充実から東京書籍がいいとも考える。英語が苦手な子の場合、光村図書出版は小学校との接続が良く、日常生活からの取っかかりやすさが丁寧だと思う。また、光村図書出版の色合いが優しく、文字に目が行きやすいように感じる。開隆堂出版、新興出版社啓林館、三省堂は内容面のバランスが少し悪いところがあると感じる。書く量が多かったり読む文章が長かったりするの、英語嫌いが出てしまうのではないか。教育出版はイラストの表情が単調に感じる。コミュニケーションを考えたときに表情の豊かさは重要になってくると考えるなどの意見が出され、光村図書出版が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点で東京書籍ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点など細かくご意見をいただいた上で、光村図書出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理者 ただいまの説明に質問がありましたらお願いします。よろしいですか。

特に質問がございませんようでしたら、外国語・英語についてご意見をお願いします。  
森田委員。

○森田委員 光村図書出版がやっぱり一番良かったですね。巻末にある英語の学び方ガイドというのも非常によくまとまっていたし、子どもにとって一番ハードルが高いのってスピーキングだと思うんですけども、「間違いを恐れず話してみよう」というふうな内容になっているのは、中学生にとって非常にいいことなんじゃないかなと思いました。

開隆堂出版も文字が大きくて読みやすかったんですが、ちょっとイラストが多過ぎるかなとは思いました。絵に目が行き過ぎてしまって、文字が読みにくかったように思います。

教育出版も内容は良かったんですが、他者と比較した場合、武蔵野の子どもにとって

は内容が簡単だったのではないかなと思いました。

最後、東京書籍ですが、こちら、どの教科書についても言っているような気がします。内容が非常にまとまっていて、見やすく使いやすいんじゃないかなと思いましたが、総合的に見て光村図書出版かなと思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 はい。

○岩崎委員 どの教科書もここまで教えるんだとびっくりしたというのが印象で、たくさん工夫されていて、どれもいいなと思いました。

私は東京書籍は語順カードがあったり、面白い写真があったり、使いやすいそうに感じました。光村図書出版は紙面が体系化されていて、色使いがいいということがあり、例えばその場でスピーキング、レッツ・トークとか紙面が変わっていたり、ちょっとした楽しさがあるという点で光村図書出版が良いと思いました。

ほかのところはリーディングが充実していたり、それぞれ特徴があって、いずれも先生がどのようにに使うかによって、どれも生きる教科書だとは思いましたが、楽しさという点で光村図書出版というのが一歩良かったかなと思ったところです。

○清水教育長職務代理者 高橋委員。

○高橋委員 まず、東京書籍ですけれども、音から文字へというデジタルコンテンツもとても充実していたと思います。ただ、スピードを1.2倍にすると最初の音が途切れてしまうのは、これは改善が必要ではないかなと感じました。

開隆堂出版は69ページの早分かりグラマーポイントはとても見やすく良かったんですけども、デジタルコンテンツはちょっと分かりづらいなと感じました。

三省堂と教育出版は、武蔵野市の子どもたちにはちょっと簡単過ぎないかなと、内容が易しめに思いました。

新興出版社啓林館はデジタルコンテンツが一番充実していました。難易度としては高めだったというふうに思います。武蔵野市の子どもたちならばできると思うんですけども、反面、分からないと挫折してしまう子も出てきてしまうのではないかなと私は懸念いたしました。

最終的には光村図書出版がいいのではないかなと思いました。ストーリーが漫画のようになっているのは、今の子どもたちには伝わりやすいのではないかなということ。そして、デジタル音声、そして本に書かれていないものまで音声に載っているのは、若干混乱を

招くのではないかと個人的には思いましたけれども、とても分かりやすさ、そして学ぼうとする姿勢というのが一番意欲的になりそうだなと感じたのは、この本でした。

以上です。

○清水教育長職務代理者 それでは、私からです。

東京書籍は、写真や絵、本文がいいなと思います。リアル・ライフ・イングリッシュ、これがいいなと思います。実生活で使用できる場面になっています。

それから新興出版社啓林館、会話文は多いんですけども、発展性に欠けてテーマに面白さがちょっとないなと思いました。

光村図書出版です。全体的に色合いが淡くて見やすい紙面になっています。本文で学校の生活場面を取り扱っていて、とてもいいなと思います。構成がはっきりとしていて、使いやすい教科書になっています。

それから教育出版、これも本文、それからプラクティスの内容はいいなと思います。

三省堂です。本文の内容が生徒の興味を引く内容とはちょっと言い難いなと思いました。レベル的には大体適切かなと思います。会話を学ぶ観点では発展性があるなと思います。

あと開隆堂出版ですけども、文法の解説が分かりやすいということ。それから興味深い話題が取り扱われているということは、これは良さかなと思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を伺った結果、外国語・英語につきましては光村図書出版を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で外国語・英語に関わる協議を終了いたします。

最後に特別の教科道徳について協議を行います。

説明をお願いします。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 それでは、特別の教科道徳についてご説明申し上げます。

特別の教科道徳の教科書は7者です。教科の目標や内容項目につきましては、資料2の5ページに記載のとおりでございます。

次に、採択協議会の協議ですが、光村図書出版のデジタルコンテンツが充実しており、子どもたちに考えさせる手だてが豊富だと感じた。あかつき教育図書は資料が豊富で中心発問に係る文章をわざとカットするなど工夫が多々あるが、読み物教材の扱い方で光村図書出版より取り残されている感がある。学校行事と関連し、東京書籍には体育祭の前に扱える「みんなで飛んだ」などがある。そのほか、光村図書出版と東京書籍は職場体験に関連する道德の授業もできる。日本教科書はウェルビーイングを取り上げるのは良いが、ほかの工夫がもっと欲しい。日本文教出版の道德ノートは、ワークシートがあれば必要ないのではないか。G a k k e nのようにワークシートがないよりもワークシートはあったほうが良い。教育出版のワークシートは枠だけで、巻末の振り返りも活用できるか疑問であるなどの意見が出され、光村図書出版が武蔵野市の生徒が使用するのに適している。次点であかつき教育図書ではないかと協議結果をまとめました。

そして、先日の臨時会では、委員の皆様から各者の教科書の良さや気になる点などを細かくご意見をいただいた上で、光村図書出版を候補の案とすることで一旦協議がまとまったところでございます。

なお、道德につきましては、学習指導要領において3学年分の指導内容が一体となっておりますが、教科書は学年別の発行となっております。そのため、採択教科書を現在使っている東京書籍から変更する場合は、第1学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用する。第2及び第3学年については学習内容の連続性に配慮し、採択変更前の発行者、本市で言えば東京書籍の新版教科書を使用することが原則となります。

ただし、東京都教育庁指導部管理課「令和7年度使用教科書採択の手引」によると、採択権者の判断により特に必要性を認める場合は、第2・3学年についても採択変更後の発行者の新版教科書を使用することも可能とのことです。

そのため、採択候補の決定とともに、来年度の第2・3学年で使用する教科書の発行者についてもご協議いただきますよう、よろしく申し上げます。

以上で説明を終わります。

○清水教育長職務代理人 ただいまの説明に質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

特に質問がございませんようでしたら、特別の教科道德についてご意見を申し上げます。

高橋委員。

○高橋委員 まず最初に申し上げるのは、日本文教出版、G a k k e n、あかつき教育図書のこの3者に共通で「ネット将棋」という物語があります。私の分野なので申し上げますと、これは文科省の読み物資料集の中にあつたものだとは思いますが、将棋の中でのルール違反を一番最初に上げてしまっているというところで、私はこれを載せるということとはできない。具体的に言いますと、第三者が将棋の優劣について発言するというのは、やってはいけないことなんですね。ですから、それが載ってしまっているというので、これは私の中では選べないというところでもあります。

あとG a k k e nに関しては、イラストも間違っていました。将棋の駒を相手の取ったものを取るところの駒を置く場所を駒台というんですが、それの上に駒が乗っていないといけないのが、そこには乗っていない状態なので、これはイラストとしても内容が間違っております。

東京書籍です。4ページに「道徳科とは」というところで、「人それぞれ違う。そして正しい答えを見つける時間ではない」という記載がとてもいいなと思いました。中学3年生の教科書186ページには、女子昔話で女性のことしか扱っていないというのは、ちょっと私の中では気になりました。男性のこともあってもいいのではないかと、全体的なバランスとしては悪くないかというふうに思いました。

教育出版は対話をする活動が少ないなと感じました。

その中で私は良いなと思ったのは光村図書出版です。ページが見やすい。表紙のタイトルもいい。そして、話合いがしやすい構成になっているなど、教科書全体のつくりとして最も適していると思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理人 森田委員。

○森田委員 各者非常に内容も面白く、同じ内容でも見せ方が違ったりとかして、非常に興味深く見ることができました。

ただ、光村図書出版がちょっと抜けて良かったなと思いました。1年生の教科書、巻頭言が「バッテリー」とかを書かれているあさのあつこ先生なんですけれども、本当に子どもたちが不安に思っているようなことに寄り添って書かれていて、これを授業でやっていくというのは非常にいいことだなと思いました。なので、光村図書出版がすばらしかったなと思います。

ほか各者、気になるところがたくさんあったんですけども、あかつき教育図書です

が、中学校1年生の90ページ目に「島耕作」を扱った内容が載っているんですけども、席を譲る、譲らないという話になってくるんですが、ちょっと子どもたちが話し合うには難しいんじゃないかなと思いました。島耕作、個人的には非常に大好きなんですけれども、不道德の塊みたいな方で、中学生に島耕作で何か学べというのは不適切ではないかなというふうには思います。

G a k k e nです。イチロー選手を題材に取り扱っておりまして、僕もイチロー選手、とても好きなので、イチローに限ってそんなことはないと思うんですが、水原一平さんのようなこともありかねないので、なかなか現役、今の方を道徳で取り扱っていくというのは一旦避けたほうが良いんじゃないかなというふうには思いました。

日本文教出版、非常に見やすかったです。1年生の初めにいじめの内容を取り扱っているのも、いじめをすると良くないんだよというのを分かってもらうということで非常に良かったと思うんですが、時々出てくるコラムの見開きが、右開きなので左上から読むという、ここだけ読む順番が変わってしまうので、これは子どもも混乱するのではないかなと思いました。

東京書籍は毎回話していますが、非常に見やすかったです。甲乙つけ難いなと思いましたが、光村図書出版が良かったかなと全体通して思いました。

以上です。

○清水教育長職務代理者 では、岩崎委員。

○岩崎委員 全者いい点があって、それぞれに良い点を指摘することが大事かと思いますが、既に皆さんがお話しになられた中に、私が話そうと思った内容があったので、特に最終的に我々が合意した光村図書出版の何が良かったかをお話ししたいと思います。

一番光村図書出版が良かったと思った点は、こうあるべきという道徳観念みたいな価値観が表に出てこないとの印象出会ったことです。道徳はこうすべき、例えばこういうことはしてはいけないということが前面に最初に出てくる教科書がある中で、G a k k e nもそういう点ではいいと思ったんですが、読み物の題材からその内容について議論し対話し、ロールプレイをして、自分たちで考えを出す。あらかじめこうすべきであるということではなくて、題材から自分たちで考えを導き出すという点がすごく良かったと思いました。

それから、森田委員がおっしゃったように、扉の後ろに書かれている内容が生徒さんに呼びかけているもので近くなる内容というのも印象が良かった点です。

それと、これも森田委員と同じで、現役のスポーツ選手を道徳の教科書の中で取り上げているところもありますが、現役のうちに道徳の教科書に載るというのは、本人には負担があるのではないかと感じていて、その点でも光村図書出版のように読み物を精選して、それを題材にするほうが望ましいと感じた次第です。

○清水教育長職務代理者 では、私からですけれども、道徳の教科書ですから、生徒の多様な価値観が考えを深めていくような、そういった内容の資料をできるだけたくさん扱ってほしいなと思っています。お話としてはいいんだけど、そこから深まっていかないような内容というのも結構散見されるんです。ですから、そういったあたり、もう一度一つ一つ各教科書会社はさらに精査していく必要があるのかなということを感じました。

それでは、東京書籍から順番にいきたいと思います。1学年の初めで「いじめはいけない」という内容を入れています。友達関係ができる前にこれを押さえるということは非常に重要だと思っています。ですから、最初にこれを扱ったということでは東京書籍がいいなと思います。それから、3年でもいじめのない世界、より良い友達関係の構築のために考えを深め、対話的な学びができる、そういった資料がたくさん入っている。とてもいいなと思いました。全体通して、対話が深まる良い資料が多くて優れた教科書だと思います。

それから教育出版です。1学年の1、友達について考えるいい資料です。2、「おはよう」、これも挨拶を考えるいい資料です。表紙裏に桜の花の写真とともに、中学校生活が始まる時に、やる気と元気が出てくるような文章があって、この教育出版のすばらしさだなと、すばらしいところだなと思いました。

それから、教育出版も各学年、いじめについては十分考えさせる良い資料、これを初めに用意しています。よく考え話し合うことで道徳的な力がついていくよう、よく考えられた教科書だと思います。

それから光村図書出版です。2・3学年の表紙裏、成長している生徒の心に寄り添うような内容が出ていて、とてもいいなと思いました。ネットやSNSについても考えています。各学年の発達段階を踏まえて生徒の感じ方を大切にした資料と考えを深めさせる発問が用意されているということで、光村図書出版の良さではないかと思いました。

それから日本文教出版です。1学年でしょうか、「その声は」という資料があります。とてもいい話ではあるんですけども、今、電車内で電話をするということはやっぱり

よろしくないんですよ。それがやむを得ないんだったらいいというような内容なんだけど、やっぱりこれはちょっと違うんじゃないかなと思いました。道徳ノート、これを考えたことを形に残すわけですけれども、自由に記述できるようになっています。これは先生の工夫で自由に使えばいいわけで、ほかの発行者にはない、ここだけなんですけれども、そういったノートがあるというのはいいなと思いました。全体を通して悪くはないんですけれども、考えさせて対話が深まるような資料が若干少ない気がしました。

次にG a k k e nです。先ほど森田委員からも出ましたけど、28に「イチローの軌跡」とってイチローというのはいつ引退したんだろうって思い返すと結構前なんですよ。イチローの内容自体はこの資料としては悪くないんですけれども、やはり今の子どもたちというのは大谷世代で、一昔、二昔前の野球の選手ってもしかしたらあまりよく分からない生徒もいるのかなというふうに思いました。それから表紙裏、1学年ではアンネ・フランク、2年ではサンテグジュペリ、3年ではプルーストの言葉が出ていますが、これがその言葉自体はいいんですけれども、道徳の学びにちょっとつながらないような気がして残念に思いました。あと、いじめについて考えたり、SNSの扱いについて話し合ったりの資料がちょっと少ないかなと思いました。

それからあかつき教育図書です。「マイ・プラス」というのが22ページからあるんですけども、これはいじめについてです。ボリュームがあるんですけども、資料で学級にありそうな事例が紹介されていると良かったなど。やはり中学校の学級で起こりそうなこと、そういったことを取り上げることによって子どもの興味・関心が高まっていくだろうなと思います。読み物としてはいいものなんですけれども、話合いが深まっていかないなという資料、これが散見されました。全体を通して特に悪いという点はないんですけれども、これは際立っていいという良さの特色もあまり感じられませんでした。

それから、日本教科書ですけれども、1年の1、「稲村さんの苦悩」というのがありました。これ利用者のマナーなんですけれども、利用者のマナーの悪さばかりが目立つ資料なんですね。やっぱり道徳の資料はいろいろ考えさせているということはとても大事なんですけれども、ネガティブな部分があまり強調されるというのはあまりよろしくないのかなと私は思います。スタートの資料は道徳とは話合いでたくさんのが学べるという実感のある、そういう資料にしてほしいなと思います。それから「秋の実力テスト」という資料があるんですけども、これは私から見ると、話合いの余地がないなと思いました。それから、3学年でSNSでの誹謗中傷を扱った資料がありますけれど

も、これはディベートのような形で子どもたちに意見を出させるとなかなか面白いんじゃないかと思いました。生徒の価値観を揺さぶって広く深く話し合い、生徒の道徳的な実践力が高まっていくような資料が若干少ないような気がして残念に思いました。

以上です。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を伺った結果、特別の教科道徳につきましては光村図書出版を採択する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、そのように決定いたします。

なお、事務局から説明がありましたが、特別の教科道徳で採択する教科書が現行の東京書籍から変わります。第2・第3学年の来年度の教科書について、原則どおり、現行の東京書籍を使用するか、それとも採択権者である武蔵野市教育委員会の判断により、今回の候補である光村図書出版を使用するかの協議もここで行いたいと思います。

事務局に質問ですけれども、現行の東京書籍を使わないことにより、未履修の内容が生じるというような不都合は生じますか。

統括指導主事。

○高丸統括指導主事 内容項目ごとに扱う教材数の多い、あるいは少ないということであるとか、配列の違いということはありませんけれども、未履修といった不都合が生じることはございません。

○清水教育長職務代理者 それでは、学習内容上、不都合が生じるということではないということですね。

それでは、皆様のご意見をお願いします。

高橋委員。

○高橋委員 主体的・対話的で深い学びを進めていく上では、話し合いがしやすい構成になっている光村図書出版を全学年で使用するということが、本市の子どもたちの実態には合っているのではないかなというふうに思います。また、先生方も統一していたほうが分かりやすいのではないかなと思うので、来年度から変えてもいいのではないかと思います。

○清水教育長職務代理者 今、来年度から全学年光村図書出版でどうでしょうかというご意見ですけれども、ほかの方、よろしいでしょうか、それで。

それでは、お諮りいたします。

今いただきました高橋委員、それから皆様の意向を尊重して、特別の教科道德の教科書につきましても第2学年・第3学年ですね、光村図書出版を使用する教科書の候補としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、このように決定いたします。

以上で特別の教科道德に関わる協議を終了いたします。

それでは、方向性の確認ができました。

以上で、協議事項(1)「令和7年度使用中学校教科用図書採択について」に関わる協議を終了いたします。

ここで、5分間休憩を取りたいと思います。再開は12時5分としたいと思います。

それでは、休憩といたします。よろしく申し上げます。

午前11時58分休憩

午後 0時05分再開

○清水教育長職務代理者 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

次に、議案に入りたいと思いますが、資料をお願いいたします。少々お待ちください。よろしいですか。

それでは、議案第11号「令和7年度使用中学校教科用図書採択について」を議題といたします。

説明をお願いします。

指導課長。

○荒井指導課長 それでは、議案第11号「令和7年度使用中学校教科用図書採択について」ご説明いたします。

この議案は令和7年度から10年度に使用する中学校教科書について採択をお願いするものでございます。

それでは、議案書をご覧ください。先ほどの協議の結果、決定いたしました種目ごとの教科書の候補につきまして確認し、説明に代えさせていただきます。

種目、発行者の順に読み上げてまいります。

国語、光村図書出版株式会社。書写、光村図書出版株式会社。地理、株式会社帝国書院。歴史、東京書籍株式会社。公民、東京書籍株式会社。地図、株式会社帝国書院。数

学、東京書籍株式会社。理科、東京書籍株式会社。音楽一般、株式会社教育芸術社。音楽器楽、株式会社教育芸術社。美術、光村図書出版株式会社。保健体育、東京書籍株式会社。技術、東京書籍株式会社。家庭、開隆堂出版株式会社。英語、光村図書出版株式会社。道徳、光村図書出版株式会社。

なお、採択いただきました場合、この結果につきましては8月31日までに東京都教育委員会に報告いたします。

説明は以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○清水教育長職務代理者 事務局の説明についてご意見、ご質問がございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、ご質問、ご意見がございませんようでしたら、皆様にお諮りいたします。

議案第11号「令和7年度使用中学校教科用図書採択について」を議案のとおり決定いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、そのように決定いたします。

本日は、これとは別にもう一件、別の議案がございます。

それでは、議案第12号「武蔵野市教育委員会教育長職務代理者の権限に属する事務の委任に関する規程の制定について」を議題といたします。

説明をお願いします。

教育部長。

○真柳教育部長 議案第12号「武蔵野市教育委員会教育長職務代理者の権限に属する事務の委任に関する規程について」ご説明いたします。

本市教育委員会において、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときに備え、あらかじめ教育長職務代理者を指名しております。

教育長の職務としては、教育委員会を代表すること、教育委員会の会議の主宰することのほか、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどること、教育委員会事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督することがございます。

教育長は常勤の職であるところ、職務代理者は非常勤の教育委員から指名することとなっており、具体的な事務の執行等については、法第25条第4項に基づき、教育委員会事務局職員に委任することが可能とされております。

この規程は、第2条において教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表することを除く教育長の職務について、教育部長に委任することができることを定めるものでございます。

説明については、以上でございます。

○清水教育長職務代理者 事務局の説明について、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(「結構です」の声あり)

○清水教育長職務代理者 ご質問、ご意見がございませんようでしたら、皆様にお諮りいたします。

議案第12号「武蔵野市教育委員会教育長職務代理者の権限に属する事務の委任に関する規程の制定について」を、議案のとおり決定いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○清水教育長職務代理者 それでは、そのように決定いたします。

---

#### ◎閉会の辞

○清水教育長職務代理者 これをもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

令和6年第3回教育委員会臨時会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

午後 0時11分閉会